

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月6日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 唐木 康正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 兼財務本部長 (氏名) 中川 克夫

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成21年11月6日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	18,095	4.9	327	77.3	259	40.1	18	—
21年3月期第2四半期	17,257	—	184	—	184	—	△24	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	0.88	—
21年3月期第2四半期	△1.20	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	24,524	8,423	34.3	394.01
21年3月期	24,516	8,489	34.6	397.12

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 8,423百万円 21年3月期 8,489百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	4.0	850	6.2	750	2.9	200	10.0	9.35

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	21,379,000株	21年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	148株	21年3月期	148株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	21,378,852株	21年3月期第2四半期	20,432,917株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、詳細につきましては、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期の業績

(百万円未満切捨て)

(1) 経営成績 (会計期間) (平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 2 四半期	9,323	2.0	478	8.1	450	0.7	216	0.7
21 年 3 月期第 2 四半期	9,141	—	442	—	447	—	214	—

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 2 四半期	10.11	—
21 年 3 月期第 2 四半期	10.27	—

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する分析

当第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、景気対策の効果や対外経済環境の改善により持ち直しの兆しが見られるものの、失業率が過去最高水準となるなど、雇用環境が厳しい中、消費マインドは低調に推移いたしました。

当業界におきましても、人々の健康づくりに対する社会的役割への期待はあるものの、景気回復の不確実性による節約志向の高まりや、同業他社との競争激化により、事業環境は厳しさを増しました。

このような状況の中、当社は、地域及び顧客特性に応じた個店マーケティングを基本戦略とし、新たな顧客層の開拓を目指した商品の開発を行うとともに、適切な設備投資を実施してクラブ環境の整備と魅力向上を図り、会員の定着を進めております。また、クラブオペレーションの効率化も推し進め、経営基盤の強化を図っております。

当第2四半期累計期間における直営クラブの新規出店につきましては、6月に豊中（大阪府豊中市）の1クラブを出店いたしました。一方、契約期間の満了等により5月末に上大岡（横浜市南区）、6月末に小名浜（福島県いわき市）の2クラブを閉店いたしました。この結果、当第2四半期末のクラブ数は、直営95クラブ、業務受託6クラブ、フランチャイズ1クラブの計102クラブとなりました。

既存クラブにつきましては、効果的な販売促進活動による入会者の獲得に努めたことに加え、新規入会者の初期定着が進み、退会率が低減したことにより、下表のとおり在籍会員数が前年を上回って推移いたしました。なお、売上高は、月会費の低廉メニュー投入等により会費単価が低下したため、前年同期比△2.0%となりました。

既存クラブ月末在籍会員数の推移（単位：％）

	当第1四半期			当第2四半期			6ヵ月累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
前年同月比	+0.7	+1.4	+2.6	+3.3	+3.9	+4.0	+2.6

また、既存クラブへの主な設備投資としては、5月に石神井公園（東京都練馬区）、幕張（千葉市花見川区）、水戸（茨城県水戸市）、8月に土気あすみが丘（千葉市緑区）、仙台泉中央（仙台市泉区）の5クラブにおいて、内外装・設備等の改装及び更新を実施しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間においては、前期の株式会社リーヴ・スポーツとの合併及び新規出店によるクラブ増加により、売上高は180億95百万円（前年同期比4.9%増）となり、利益面では、クラブ運営コストの低減に努めたこと、また直営の新規出店が前年同期の2クラブから1クラブとなり、初期費用が減少したこと等により、営業利益は3億27百万円（同77.3%増）、経常利益は2億59百万円（同40.1%増）、四半期純利益は18百万円（同43百万円改善）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

#### ① 資産

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ7百万円増加し、245億24百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことにより、流動資産合計が74百万円減少し、新規出店に伴い建設仮勘定が増加したことにより、有形固定資産合計が1億28百万円増加したことによるものです。

#### ② 負債

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ74百万円増加し、161億円となりました。これは主に支払手形が増加したことによるものです。

なお、前事業年度に締結したシンジケート方式によるタームローン契約のうち、未実行であった長期借入金7億円を実行し、短期借入金を返済しております。

#### ③ 純資産

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ66百万円減少し、84億23百万円となりました。これは四半期純利益18百万円の計上と前事業年度末配当金85百万円の取崩しによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ2億71百万円減少し、10億17百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間5億43百万円（前年同期10億29百万円）

営業活動により得られた資金は、5億43百万円（前年同期比47.2%減）となりました。これは主に税引前四半期純利益96百万円、減価償却費7億91百万円（同0.3%増）、法人税等の支払額2億12百万円、売上債権の増加額1億13百万円によるものです。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間△9億15百万円（前年同期△10億23百万円）

投資活動に使用した資金は、9億15百万円（前年同期比10.5%減）となりました。これは主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出8億59百万円（同48.0%増）、敷金及び保証金の差入による支出1億32百万円（同74.1%減）によるものです。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間1億円（前年同期△91百万円）

財務活動により得られた資金は、1億円となりました。これは主に長期借入れによる収入19億円、短期借入金純減少額8億50百万円、長期借入金の返済による支出8億27百万円（前年同期比89.7%増）、配当金の支払額85百万円（同19.1%減）によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成21年5月11日の公表数値から変更はいたしておりません。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

詳細は、12ページ【簡便な会計処理】をご覧ください。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	982,641	1,253,032
売掛金	782,176	668,545
商品	501,691	443,294
その他	1,412,604	1,381,294
貸倒引当金	△22,176	△15,016
流動資産合計	3,656,936	3,731,150
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,068,329	5,266,691
その他(純額)	4,493,213	4,166,385
有形固定資産合計	※ 9,561,543	※ 9,433,076
無形固定資産	796,161	782,739
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,087,177	8,037,086
その他	2,485,870	2,563,464
貸倒引当金	△63,360	△30,960
投資その他の資産合計	10,509,687	10,569,591
固定資産合計	20,867,392	20,785,407
資産合計	24,524,329	24,516,558
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	283,184	166,017
買掛金	131,202	162,950
短期借入金	1,000,000	1,850,000
未払法人税等	98,611	245,844
前受金	725,830	812,252
賞与引当金	408,956	404,830
役員賞与引当金	—	18,774
その他	4,014,361	3,600,326
流動負債合計	6,662,145	7,260,995
固定負債		
長期借入金	6,369,000	5,640,000
退職給付引当金	528,458	528,094
その他	2,541,230	2,597,581
固定負債合計	9,438,689	8,765,675
負債合計	16,100,834	16,026,671

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,756,974
利益剰余金	3,455,753	3,522,350
自己株式	△79	△79
株主資本合計	8,423,028	8,489,625
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	466	262
評価・換算差額等合計	466	262
純資産合計	8,423,494	8,489,887
負債純資産合計	24,524,329	24,516,558



(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	17,257,024	18,095,207
売上原価	16,296,415	16,962,939
売上総利益	960,609	1,132,267
販売費及び一般管理費	* 775,879	* 804,757
営業利益	184,730	327,510
営業外収益		
受取利息	14,448	15,310
受取手数料	10,043	16,301
受取保険金	4,038	—
その他	25,382	14,341
営業外収益合計	53,913	45,952
営業外費用		
支払利息	52,338	96,141
その他	1,401	18,260
営業外費用合計	53,739	114,401
経常利益	184,904	259,061
特別利益		
固定資産売却益	558	519
貸倒引当金戻入額	—	1,299
特別利益合計	558	1,819
特別損失		
固定資産売却損	365	—
固定資産除却損	19,564	32,770
減損損失	67,999	59,721
店舗閉鎖損失	44,508	5,676
貸倒引当金繰入額	—	50,000
その他	33,916	16,187
特別損失合計	166,354	164,355
税引前四半期純利益	19,108	96,525
法人税、住民税及び事業税	76,812	52,461
過年度法人税等	—	12,835
法人税等還付税額	△20,275	—
法人税等調整額	△12,826	12,310
法人税等合計	43,711	77,606
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,603	18,918

## 【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	9,141,917	9,323,710
売上原価	8,330,265	8,452,501
売上総利益	811,651	871,209
販売費及び一般管理費	* 369,187	* 392,912
営業利益	442,463	478,296
営業外収益		
受取利息	7,930	7,794
受取手数料	5,875	14,930
その他	20,552	8,114
営業外収益合計	34,358	30,839
営業外費用		
支払利息	29,139	48,830
その他	518	10,105
営業外費用合計	29,658	58,936
経常利益	447,164	450,199
特別利益		
固定資産売却益	558	506
特別利益合計	558	506
特別損失		
固定資産売却損	365	—
固定資産除却損	12,663	22,544
減損損失	—	15,387
店舗閉鎖損失	44,310	5,676
その他	33,916	12,773
特別損失合計	91,255	56,381
税引前四半期純利益	356,467	394,325
法人税、住民税及び事業税	59,536	36,106
法人税等還付税額	△20,275	—
法人税等調整額	102,588	142,065
法人税等合計	141,849	178,171
四半期純利益	214,618	216,153

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	19,108	96,525
減価償却費	793,839	791,782
固定資産除却損	19,564	32,770
減損損失	67,999	59,721
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,260	364
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,031	39,559
賞与引当金の増減額(△は減少)	80,174	4,126
受取利息及び受取配当金	△14,490	△15,347
支払利息	52,338	96,141
売上債権の増減額(△は増加)	52,485	△113,630
たな卸資産の増減額(△は増加)	63,334	△62,976
仕入債務の増減額(△は減少)	59,461	85,418
前受金の増減額(△は減少)	47,523	△86,422
その他	△166,638	△80,925
小計	1,079,470	847,108
利息及び配当金の受取額	3,012	390
利息の支払額	△50,317	△91,716
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,101	△212,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,029,063	543,452
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	9,912	—
有形固定資産の取得による支出	△580,961	△859,927
無形固定資産の取得による支出	△35,569	△69,402
敷金及び保証金の差入による支出	△511,075	△132,486
敷金及び保証金の回収による収入	56,896	102,306
その他	37,438	43,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023,359	△915,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	450,000	△850,000
長期借入れによる収入	—	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△436,000	△827,000
リース債務の返済による支出	—	△37,031
配当金の支払額	△105,161	△85,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,161	100,927
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△85,457	△271,183
現金及び現金同等物の期首残高	290,913	1,289,156
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	360,894	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 566,350	※ 1,017,972

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
1	一般債権の貸倒見積高の算定方法 当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2	棚卸資産の評価方法 当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によりしております。
3	繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によりしております。

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

## 【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額 10,802,664千円	※ 有形固定資産の減価償却累計額 10,485,283千円

(四半期損益計算書関係)

## 第2四半期累計期間

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 178,137千円 賞与引当金繰入額 35,400千円	※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 214,214千円 賞与引当金繰入額 35,636千円

## 第2四半期会計期間

前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 88,299千円 賞与引当金繰入額 21,025千円	※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 108,040千円 賞与引当金繰入額 17,825千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※ 現金及び現金同等物の当第2四半期累計期間末残高と当第2四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) 現金及び預金 532,182千円 預け金(流動資産その他) 34,168千円 現金及び現金同等物 566,350千円	※ 現金及び現金同等物の当第2四半期累計期間末残高と当第2四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在) 現金及び預金 982,641千円 預け金(流動資産その他) 35,331千円 現金及び現金同等物 1,017,972千円

## (株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期会計期間末
普通株式(株)	21,379,000

## 2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期会計期間末
普通株式(株)	148

## 3 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月25日 取締役会	普通株式	85,515	4.00	平成21年3月31日	平成21年6月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

## 4 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

## (リース取引関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っておりますが、当四半期会計期間末における当該取引残高は、前事業年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載していません。

## (有価証券関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

## (デリバティブ取引関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)

当社はデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

## 1 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)		前事業年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	394.01円	1株当たり純資産額	397.12円

## 2 1株当たり四半期純利益及び四半期純損失

## 第2四半期累計期間

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純損失	△1.20円	1株当たり四半期純利益	0.88円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び四半期純損失については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり四半期純利益及び四半期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(△純損失) (千円)	△24,603	18,918
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(△純損失)(千円)	△24,603	18,918
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,432	21,378

## 第2四半期会計期間

前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	10.27円	1株当たり四半期純利益	10.11円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	214,618	216,153
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	214,618	216,153
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,900	21,378

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。